一宮西高新聞

発行所
愛知県立一宮西高新聞部
一宮市萩原町串作河田1
電話一宮（68）1191
株式会社 大東社
電話一宮（62）1168

教科書・補助教材・一般書籍・雑誌
文具・事務用品・家具・教材
松清本店
稲沢市高御堂1-2-1
電話 0587-32-0048
FAX 0587-21-7419

消費税 5%から8%へ
借金国家！ 日本へ!!
これからどうする？

2012年8月10日、消費増税法が可決されてから間もなく2年が経とうとしている。本年4月からは段階的な引き上げとして今までの5%税率から8%へと変わり、私たちの身の回りにも大きな変化をもたらした。そこで今回はこれからを担う西高生として消費税とどう付き合っていくかを考えていきたい。

みんなはどう思っているのだろうか？

「消費税」は低いほうが、いや出来れば無いほうがありがたい。国民の多くがそう思っていることだろう。一方で、経済活性化のため進んで消費するし、それに付随する税金を納めることでよりよい社会が形作られていくなら、本望だという方もいるかもしれないが、わずかだと思う。給料はほとんど上がっていないのに税金として払う分が多くなると自分に入るお金が減ってしまうと感じるのではないか。

だれが？いつ？

そもそも税金制度とは、いつ、だれが日本で最初に導入したのだろうか。

1979年、大平内閣が財政再建のため「一般消費税」導入を閣議決定したのが始まりのようだが、国民の同意が得られなかった。その後、1987年中曽根内閣で「売上税」を国会に提出したが、この時も国民の反対で廃案となった。

消費税法として初めて成立したのは、1988年竹下内閣の時だ。そう、あのDAIGOのおじいさん。当時の税率は3%だった。

翌年の1989年消費税による税収は3・3兆円で、当時の国家一般会計税収54・9兆円の6%を占める程度だった。今と比べて少なかったとわかる。

鬼門？

その後の消費税を巡っては、細川内閣が消費税を廃止し、7%の「国民福祉税」構想を発表するも翌日に撤回するというちょっとした事件？が発生したり、1997年橋本内閣が税率を5%に上げた後デフレ不況に陥り翌年の参院選で惨敗し内閣総辞職をしたり、2010年菅内閣が税率10%を打ち出して参院選に惨敗したりとどの内閣にとっても鬼門といえる税制だったようだ。多くの歴史を経てこの消費税率になったのである。

8%にしたのはだれ？

しかし、一昨年野田内閣が2014年に8%、翌2015年に10%と2段階方式による税率引き上げ法案を国会に提出し可決され、今年安倍内閣がこの4月にその通り実行し今日に至っている。すぐに10%にするのではなくて、2段階方式にしていくというのは最終的には同じことになるけれど、いきなり税が増えるよりはちょっとお得に感じるかもしれない。

なぜ？

以上のように、消費税をめぐっては総辞職に追い込まれたり、政権交代させられたり、首相や内閣は様々な目にあいながらも固執し、あるいは税率アップの算段をしなければならなかったのはなぜか。

1989年竹下内閣の時に消費税が一般会計税収に占めていた割合6%に対して、現在はどうなっているのか。

2010年時点では、消費税10兆円に対し、一般会計税収は41・5兆円なので、24%を占めるまでに至っている。導入当時と比較すると占める割合も4倍に達しており、一般税収の中でも4分の1を占める、なくてはならない重要な税収になっているようだ。消費税がここまで国にとって大切なものとは知らなかった。

そんなに上げる必要性はあるのか？

税金を上げないと日本は立ちいかないほど切羽詰まっているのか。ここで、世界各国との比較でこの国の財政状況を探ってみよう。世界の財政収支(対GDP比)、すなわち、国家財政の収支状況を表し、歳入から歳出を差し引いたものについてみると、8・36%の赤字で対象188ヶ国中、日本は第177位。え、下から12番目!?基礎的財政収支(対GDP比)、すなわち、財政収支から利息収入および金利払いを除いたもの、プライマリーバランスとも呼ばれ、当年の必要経費を税収等でどれだけ賄えるかを表すものにいたっては、7・60%で対象128ヶ国中、日本は第127位。下から2番目。ワースト5に入っちゃってる！私はこれを見て下から数えられる範囲に日本がいることにとても驚いた。

もっと分かりやすく言うと…

借金がどのくらいあるかを世界比較してみよう。

政府総債務残高（対GNP比)、要するに、一般政府（国、地方自治体、社会保障基金）の債務として、公債や借入金などが含まれるものに関しては、243・22%!!対象177ヶ国中、堂々の1位に輝いている…。なんと、あの財政破たんで世界に聞こえたギリシャ（第2位173・81%）をはるかに凌駕している!!

政府純債務残高（対GNP比)、すなわち、政府債務残高から一般政府保有の金融資産（公的年金の積立金、外貨準備など）を差し引いたものに関しても、対象97ヶ国中、134・12%で第2位になっている。ちなみに、第1位は168・47%で、やはり…ギリシャだ。順位で考えてみると、とても大変な状態におちいっていることに気づく。

日本の危機！どうする日本！

以上のことより、誰がどこからどう見ても、日本は財政上危機的な状態にあることは疑いのない事実だ。

少子高齢化問題もあるし、私たちの子や孫の世代につけを残さないために耐え難き消費税を上げなければならないのか。

私は声を大にしてみなさんに言いたい。「日本を借金国家にしたのは、私達だから、なんとかするのも私達の使命だ！」（岩田）

順位	国名称	単位: %	前年比	種別	地域	推移
1位	ギリシャ	168.47	→ ニ	国	ヨーロッパ	
2位	日本	134.12	→ ニ	国	アジア	
3位	レバノン	132.40	→ ニ	国	中東	
4位	ポルトガル	118.40	→ ニ	国	ヨーロッパ	
5位	グレナダ	115.05	→ ニ	国	中南米	
6位	イタリア	110.71	→ ニ	国	ヨーロッパ	
7位	アイルランド	100.31	→ ニ	国	ヨーロッパ	
8位	アンティグア・バーブーダ	92.24	→ ニ	国	中南米	
9位	カーボヴェルデ	90.51	→ ニ	国	アフリカ	
10位	フランス	87.62	→ ニ	国	ヨーロッパ	

2013年　政府純債務残高（対ＧＤＰ比）ランキング（世界経済のネタ帳より）

部員感想

結局消費税10%にするのならば、最初から10%にしてしまえばいいのにと思いました。（今井）

私はやっぱり消費税5%のまがいいです。でもギリシャのようにならないか心配です。（足立）

消費税について考えることはあまりないのですが、もっと日本の財政にも関心を向けようと思いました。（岡田）

日本の財政状況から考えて、消費税を高くすることは妥当だと思った。（木全）

今年は8%、来年は10%とだんだん税金が上がっていき、これから日本がどうなっていくのかなと思いました。（岩田）

軍団色決定！

7月4日、長かった期末考査が終わり、結団式を迎えた。本年は3学年9クラスになって初めての1群団3クラスずつの縦割りとなる。各群団色とクラスは以下の通り。

第1群団（ピンク）3年7組、2年3組、1年6組
第Ⅱ群団（黄）3年5組、2年6組、1年4組
第Ⅲ群団（赤）3年8組、2年2組、1年7組
第Ⅳ群団（青）3年1組、2年8組、1年3組
第Ⅴ群団（オレンジ）3年4組、2年7組、1年5組
第Ⅵ群団（緑）3年6組、2年1組、1年8組
第Ⅶ群団（紫）3年2組、2年5組、1年9組
第Ⅷ群団（白）3年9組、2年4組、1年2組
第Ⅸ群団（黒）3年3組、2年9組、1年1組

どの群団も9月の西高祭に向けて全力で取り組んでもらいたい。

MY SCHOOL DAYS

松井 裕樹 先生

私は名古屋市の高校に通っていました。電車を乗り継いで、今と通学時間があまり変わらない学校です。高校受験の頃は名古屋市内の高校しか考えておらず、入学後も他の学校の様子はほとんど気にしなかったため、今年西高に来て校風の違いに驚きました。私が通っていた頃の名古屋市の高校は良くも悪くも自由で、頑張る人は自分でやり、サボる人も自己責任です。厳しく叱咤されることも周りではありませんでした。こんな校風の中で過ごした私の3年間は、たくさんの経験をすることができて充実したものでした。

それでは、簡単に高校生活を振り返らせてください。まずは生徒会の話です。私は2期にわたって生徒会長を務めました。小学生の頃から人の前に立つことが好きで、この時も「学校のために頑張るぞ」と意気込んでいたと思います。学校行事や生徒議会のための普段の生徒会室での活動では、大学や社会で役立つ知識をたくさん得ることができました。他にも募金活動や他校の生徒会との交流、式典の挨拶や東京での意見交流会など、やらせていただけることはすべて受け入れ、他にない様々な事を経験することができました。

次に部活動の話をしましょう。高校では硬式テニス部に入部しました。中学でソフトテニスをしていたため「ある程度は・・・」と思っていましたが、打ち方等が全然違う上に周りも同じような経験があり、元々運動が得意でない私は部内のレベル分けで下位のBチームに属すことに。しかし、個人競技であるため他の子と同じように試合には出られ、頑張ればそれなりに勝利を得る事は可能です。コートが少なく、毎日30分ほどしかきちんと練習をすることができない中一人でネット打ちやフットワーク練習をたくさん行いました。生徒会等で練習できない日も多かったですが、その分も挽回しようと必死に頑張っていたはずです。さらにBチームの友人の多くはコートに入れないときに部室で遊んでいたため、彼らには負けられないという意識もありました。結果としていい成績を収めることはできませんでしたが、最後の大会でも勝利を掴むことができ、頑張って本当によかったと思います。

もちろんクラスでの生活も楽しいものでした。入学式の次の日、前の席の女の子にあだ名をつけてもらい、そのあだ名は高校大学と今でも使われています。テストが近づけば互いに教え合ったり競ったりして、楽しく勉強することもできました。幼なじみに数学を教えていたときにからかわれたのもいい思い出です。

大切な経験

2年生からのクラス分け、つまり文理選択ですが、少し特殊な選択をします。入学の動機でもあるのですが、出身校はSSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校であり、SSクラスというものが設けられていました。そのクラスは自然科学とより深く関われるようなカリキュラムが組まれていて、大学との連携や講演、施設が増えるということが最大の選択理由です。このクラスの一番の目玉は課題研究で、グループを組んで好きな事を研究するというものです。私は4人グループで「紫外線による色あせ」について研究をしました。水に溶かした染料にブラックライトで紫外線を当て、毎週毎週色あせの程度を機械を用いて測ります。変化が見られたが何が原因なのか。どんな化学反応が起きたのか。もっとこうした方がいいんじゃないか。友人たちと議論し合いながらする研究は、大学で数学に向き合う際の考え方にも影響があったと思います。1年ほど研究を続け、成果を英語で発表したり論文を書いて大学主催のコンクールに参加したりしました。いい結果は出ませんでしたが得るものはたくさんあり、多くの友人が研究職を目指して今も学んでいます。そんな科学好きなクラスだったので、2年生の学校祭では科学マジックを取り入れた劇をしました。演技よりも化学実験に力を入れているのは学校内でも異様な光景です。

たくさんの経験ができた楽しい思い出ばかり挙げましたが、調子に乗って手を出しすぎてしまったなと反省もしています。忙しさにかまけて勉強がおろそかになったり、体調を崩して休みが多くなったり。すべてを完璧にしようとして出来ない自分が嫌になったりもしました。しかし、卒業して時間が経ち、高校時代を振り返ってみると、悩んでいたことや苦しんだ事なんてちっぽけな事だったと感じます。逆に、悩んで苦しんで泣いたことが今の自分を支えていると思えます。楽しかったこと、辛かったこと。どれが抜けても今の私はありません。たくさんの経験ができた高校生活はいつまでも大切にしたいものです。

1年～遠足 快晴！満喫!! リトルワールド

4月23日、私たち1年生はリトルワールドへ遠足に行ってきた。何と、高校生活での遠足は今回が最初で最後だそうだ。そんなことを行く前に先生から聞かされていたので、きっと、皆張り切って出発したのだろう。

当日は快晴。天気も私たちに味方をしてくれていたようだった。胸を躍らせながら乗った行きのバスでは、自己紹介などをしながら楽しく過ごした。まだ、クラスの皆のことがよく分かっていなかったので、良い機会になった。

そんなこんなで、リトルワールドに無事到着した私たち。小・中学校であれば、先生に引率されて動いていただろうが、「高校生」になった私たちは班単位で自由に動いた。小さなことだが、高校生になったのだなあと実感した。

まずは、園内を少し歩いてみた。3回目のリトルワールドだったが、隣を歩いている人が違うと、何だか違う場所に感じられた。テントや広い庭のある邸宅、石で造られた屋根の家、家畜小屋など、その土地土地の気候や風習に合った建物をたくさん見ることができた。暮らしやすくするために、工夫が凝らされているのだなと感じた。

少し経つと、民族衣装を着た同級生の姿がちらほらと目に入ってきた。皆、生き生きとした表情で楽しそうにしていた。

さて、リトルワールドに行ったからには、外国の食べ物を食べなくてはもったいない。まずは、トルコアイス。これは、のびる、のびる～。外国人の店員さんが作ってくれた。

気分はまるで外国人

大人気のトルコアイス

楽しみにしていたのはワニ肉！ダチョウもラクダも一緒に食べたのだが、ワニは意外と淡白。他の2つは食べ比べをして、味を確かめてみて欲しい。普段、なかなか食べることができないものなので、1度は食べてみる価値ありだ。他にもおいしい食べ物がたくさんあった。

最後にお土産をどっさりと買って、バスに乗った。普段はあまり馴染みのない異国の文化に触れ、クラスの皆との距離を縮めることができ、思う存分楽しめたとても印象深い遠足となった。皆と過ごすこれからの高校生活が楽しみだ。（木全）

作

▼小さい頃、誕生日プレゼントとして、ドラえもんの「どこでもドア」や「四次元ポケット」を親にねだった人も多いのではないだろうか。頭につけるだけで空を飛べる「タケコプター」。ドアを開くだけで世界中のどこにだって行ける「どこでもドア」。▼それらの魅力的な道具に匹敵するくらいすごいものが、ここ数年で普及し始めている。それは、3Dプリンターだ。パソコンでデーターを作るだけで立体的な物体ができあがるという、画期的な機械だ。アニメのフィギュアや花瓶やスマホのオリジナルケースも作ることができる。昨年、3Dプリンターの技術の一つの特許が切れたため、一般にも普及するようになった。▼この特許が切れる時に、「犯罪に利用する人が出ないだろうか。」という声が上がった。案の定、世界各地で3Dプリンターによって造ったものを犯罪に使用する人が現れ始めた。最近、日本でも、3Dプリンターで、殺傷能力のある銃を作った疑いで男が逮捕された。3Dプリンターが便利すぎたからこのようなことが起こってしまったのだろうか。いや違う。これはユーザーの問題だ。▼『ドラえもん』にも便利な道具がたくさん登場する。しかし、のび太はドラえもんのひみつ道具のおかげで成長した。はじめ、のび太は困ったことがあると、すぐにドラえもんに泣きつくヘタレだった。しかしドラえもんが未来に帰る頃には、一人でジャイアンに立ち向かい、自分の力だけで問題を解決しようと奮闘するようになる。〝ひみつ道具はあくまでも触媒のような機能を有した存在である。ひみつ道具を介することによって、のび太は普段、潜在意識の中で眠っている行動力や想像力、自発性といった人生の生きる力となる資質を触発されるのである。〟

（『ドラえもん学研究序説』横山泰行：著）

▼道具は使う人次第で毒にも薬にもなる。まさに諸刃の剣というものであろう。スマホは、大容量の情報を、手軽に短時間で収集できる。しかし、それを使用しているうちにかえって手放せなくなり、膨大な時間を消費したり、犯罪にまきこまれるといった危険性もある。何のために今自分はその道具を使っているのか…。立ち止まって考えてみたい。（足立）

稲沢市祖父江町
石田写真館
0587-97-0059

Rice Creation

共和食品グループ
本部 共和食品工業株式会社
愛知県一宮市萩原町萩原183番地 TEL(0586)69-0001
給食事業 株式会社共和フードサービス TEL(0586)69-0001
米穀卸事業 株式会社名古屋食糧 TEL(052)581-0351
米穀精米事業 山水米本舗株式会社 TEL(0586)69-0002
食品加工事業 エイティエイト株式会社 TEL(0586)69-7777
米穀小売事業 共和食品株式会社 TEL(0586)69-0002
米飯事業 エイティエイトジャパン株式会社 TEL(0561)67-8800
インターネット直販事業 吟米本舗株式会社 TEL(052)220-3188
営業所／東京・静岡・石川・大阪

購買で
飲み物を販売しています
自販機の利用もよろしく
笑顔のそばに
MEGMILK
メグミルク君島
46－3362

郷土歴史 73 －犬山城＆城下町－

行ってよかった 日本のお城第2位

5月31日、その日は5月とは思えないような猛暑のなか、私たち新聞部は郷土歴史の取材で犬山市を訪れた。犬山は現在も江戸時代もほとんど同じ町割りのまま城と城下町が残っている全国でも数少ない町だ。

私たちは犬山駅に集合し、まず初めに犬山城の目の前にある本町通りに向かった。その通りはお土産屋などの連なる城下町である。建物は、殆ど全てが古風な和風建築で風情が感じられる。

通りには「でんがく」や「串カツ」などの串ものが売られている店が多く街並みを観光しながら食べ歩くことを犬山市が奨めている。私たちが行った時は「犬山串グルメ春の陣」という串ものの祭典が行われていた。そのことを知った部長が「犬山名物のでんがくを食べてみたい」と言ったので購入して食べてみた。味噌の焼かれた香ばしい匂いがして、口の中に入れるとふわりと微かな甘みを感じ美味しかった。

城下町

次に私たちはその通りの中にある「どんでん館」を訪れた。その場所には、国の重要無形民俗文化財である犬山祭で使用されている車山の13輌のうち4輌が展示されている。車山は一輌一輌がとても大きく、4輌が並んでいる姿は圧巻だった。

犬山祭では町の人たちが車山を押して町の中を練り歩く。そして、車山が城下町の辻で豪壮に方向転換する様は「どんでん」と呼ばれており、この施設の名前はこの言葉に由来している。

祭では高さが最大8メートルある車山の最上部でからくり人形が披露される。このからくり人形の模型はどんでん館から少し歩いた所にある「からくり展示館」で見ることができる。また、その展示館には1751年築で移転されてきた門や鵜飼の舟、車山の部品も展示されている。

次に向かったのは「城と町ミュージアム」である。そこは犬山の歴史がわかる模型や犬山城の所有者から寄付された国宝天守閣と共に伝来の武器・武具、絵画、工芸品、古文書、絵図などが展示され、武家文化、町人文化が花開いた江戸時代を中心に紹介されている。

そして、とうとう犬山城へ向かった。犬山城は1537年に織田信長の叔父である織田信康により築城されたといわれている。こののち江戸時代初期にかけて城主はめまぐるしく入れ替わり、1584年の小牧・長久手の戦いの際には羽柴（豊臣）秀吉は大軍を率いてこの城に入城し、小牧山に陣をしいた徳川家康と戦った。江戸時代に入ると、尾張藩付家老の成瀬正成が2代将軍徳川秀忠から犬山城を拝領し、以後成瀬氏が幕末まで代々、城主と尾張藩付家老を務めた。

新緑にうかぶ犬山城

しかし、明治の廃藩置県によって犬山城は廃城となり、天守閣を除いて櫓や城門の大部分は取り壊されて公園となった。1891年の濃尾震災で天守閣は大きな被害に見舞われ愛知県から修復を条件に旧城主である成瀬氏に譲渡された。また多くの市民からの義援金により修復工事が行われた。

その後、1959年の伊勢湾台風などで天守閣の破損が激しくなったため、全体的な解体修理工事が行われた。天守閣は1935年に国宝に指定された。また、天守閣の創建年代は1573～92年頃や1600年頃などいくつか説があるが、現存する天守閣の中では最も古いといわれている。

犬山城といえば「行ってよかった日本のお城ランキング」では世界遺産の姫路城や今話題の「日本のマチュピチュ」や「天空の城ラピュタ」と呼ばれている竹田城跡、ゆるキャラの「ひこにゃん」がいる彦根城などを抑えて第2位にランクインしている。

犬山城は昔からある建物なので階段が急になっており、昇るときは感じなかったが、降りるときに恐怖を感じた。だが、最上階からの眺めは町が一望でき、壮大ですばらしかった。

あまり知られていないが、お勧めスポットとして、犬山城の城山の麓に位置する「三光稲荷神社（宇迦御魂大社）」がある。この神社は織田信康の崇敬殊に厚く、また成瀬家歴代の守護神として天下泰平、五穀豊穣、商売繁盛、交通安全の祈願を籠め数々の神宝を寄進された。ここの御利益は家内安全、商売繁盛、土地家屋清祓い、交通安全、夫婦和合、縁結びなどで特に縁結びの神社として有名で全国から多くの人が訪れている。

特徴としてはピンクのハート型をした絵馬が奉納されておりデートで訪れるのもいいかもしれない。また「倍返し神社」としても有名で、ここにある「銭洗池」の御神水でお金や宝くじ、財宝を洗うと倍以上になって返ってくるという噂がある。さらにそれだけではなく、洗って清められたお金を持っていると一家繁盛、子孫長久にもなるという御利益があるらしい。今回行った時はこの噂のことを知らずお金を洗ってこなかった、少したってからこのこと知ったことが悔やまれる。（今井）

取材感想 道の記

猛暑の中での取材は大変でしたが、数々の建築物を見て、古い建物に関心を持つようになりました。（今井）

犬山は祖父母の家があるのでよく行くのですが、改めて城下町をきちんと見て回り、新しい発見もあり良い思い出になりました。（岡田）

〝げんこつ〟よりも〝きびだんご〟の方がオススメです。犬山城の前の店でたくさん試食しました。（結局買いませんでしたが…）（足立）

初めて取材に行ってきましたが、とても楽しめました。あまりなじみの無かった犬山の歴史を知る良い機会になりました。（木全）

犬山城の城下町を歩いた時は、田楽など有名な物を食べておいしかったです。犬山城の中では階段が急で怖かったのですが、一番上で見た景色はきれいでした。（岩田）

論説 イベント・祭り好きニッポン!!

2013年6月4日、サッカー日本代表がオーストラリア戦にて、1対1の引き分けでワールドカップ出場を決めた。JR渋谷駅前は、警視庁による通行制限などの厳戒態勢が敷かれたが、歓喜するサッカーファンが殺到し、駅前のスクランブル交差点は騒然となった。このとき一人の男性隊員が「皆さんは12番目の選手。日本代表のようなチームワークでゆっくり進んでください。」などとユーモアを交えて呼びかけ、「DJポリス」と呼ばれ、ツイッターなどでも称賛された。

その後、各新聞やテレビでも取り上げられるようになり話題になった。このときはこの男性隊員のおかげでうまく騒ぎは収まったが、このようなサッカーやイベントごとで大きなトラブルが起こることは少なくない。サポーター以外にも世の中の流行に乗せられた「にわか」と呼ばれるファンたちがあまりにも騒ぎすぎることによって批判を受けることもあるが、皆で喜びを共有し合えることはとても素晴らしいことである。

さて、このようなことからも日本人がお祭りやイベント好きということが見られるが、最近若者を中心にたくさんの人が利用しているSNSでもそのような動きがあるのではないだろうか。若者が利用しているもので一番多いものは「LINE」で、それに続いて「フェイスブック」、「ツイッター」などがある。

この中で今回注目するのはツイッターだ。ツイッターは、140文字以内の「ツイート」と称される短文を投稿できる情報サービスで、ツイッター社によって提供されている。「ミニブログ」「マイクロブログ」といったカテゴリーに分類され、「tweet」は「鳥のさえずり」の意味で、日本では「つぶやき」と意訳されている。

「日本人のツイッター好きは異常」と言われるほどかなりの人が依存しているのではないだろうか。利用者数でみるとそこまで多いとは言えず、割合が爆発的に増加しているわけでもない。

だが、日本人がツイッター好きと言われるのには理由がある。1秒間につぶやかれたツイート数の記録について、トップ5を日本が独占しているのだ。ツイッター史上における1秒間の「ツイート数最高記録」は日本が保持しているということだ。

それは2013年8月のことで、テレビ放映された宮崎駿監督作『天空の城ラピュタ』のクライマックスシーンで、まるでウィルスが広がるかのように視聴者が、あの「バルス！」のシーンで一斉にツイートしたのだ。そのツイート数はなんと1秒間で14万3199ツイートにも達し、ブッチギリの世界記録を樹立した。この現象は「バルス祭り」とも呼ばれ、日本人のお祭り好きの新しい形なのではないだろうか。

少し話が変わるが、日本人の行動そのものについても考えてみたい。日本人は礼儀正しいということがよく言われるのではないだろうか。他国と比較したのは、震災時の行動である。「人に迷惑をかけない」ということが常識である日本人は東日本大震災のときも秩序ある行動をしていたことから、他国から日本人の思いやりの気持ち、助け合い、譲り合い、冷静な判断、おもてなし、親切、マナーの良さが素晴らしく評価されている。

例えば携帯電話が繋がらず、公衆電話に並ぶ際、誰も割り込みせず、列をなして長時間並ぶ姿や、事件や強盗が起こってもおかしくない状況でも、ちゃんとお金を払い買い物をするといったような日本人の姿に脱帽ですというような声が多くあがった。

その結果、日本人の行動やモラルの素晴らしさを海外の人々は再認識しているというような記事を多く見かけた。あたりまえのように思えることだが、海外では震災などが起きた時、並ばずに自分中心に物事を考えてしまい、事件やトラブルが起こってしまうため、このような日本人の行動は高く評価されたのだろう。

はじめの日本人はイベントやお祭り好きという話題からはだいぶそれてしまったが、日本人にはたくさんよいところがあり、私たちが当たり前に思ってやっていることは他国からすればそうではなく、とても素晴らしいことだと思われているのだ。私たちはもっと自信を持って日本人として生まれてきたということに誇りを持つべきだ。

その一方で日本人の中にも常識はずれの行動をする人もいる。また、政治や経済の面での不安はたくさんあり、これからも尽きることはないだろう。これからの日本で生きていく私たちは、自分たちのより良い未来を作ってゆくためと言われてもなかなか実感はわかないが、日頃の生活の中での行動の一つ一つもきちんと思いやりの心を持つべきだ。（岡田）

聞いて、見て、触れて 2年 修学旅行

5月21日（水）～23日（金）にかけて、修学旅行へ行きました。2年新聞部員がそれぞれ印象に残った地について紹介します。

山口

山口では、松下村塾・伊藤博文旧宅、カルスト台地、秋芳洞などを見学しました。その中で一番印象に残っているのは、秋芳洞です。秋芳洞はバスガイドさんの話を聞きながら探検しました。中は涼しくて、日本最大規模だと聞いて楽しみにしていたのですが、予想以上に大きくてびっくりしました。百枚皿とか傘づくしと名づけられた岩があり、コウモリたちが住んでいると聞きました。

鍾乳洞といえば、つらら石のイメージがあったのですが、つらら石といっても種類があり、上から下につながったものは、石柱というそうです。あまりにもきれいだったので、写真を何枚も撮ってしまいました。洞窟内ではどこにいても自然の神秘を感じました。話では、洞窟に流れている水はただの水でなく石灰が含まれているので青白いとか。ガイドさんの説明のおかげで鍾乳洞のことがよくわかりました。（岩田）

神秘的な秋芳洞内

萩

萩では、萩焼の体験をしました。最初は何を作るか決めかねていた人もいましたがマグカップやサラダボールなど、みんな短い時間で綺麗に完成させていました。

その後、班別でのレンタルサイクルで萩の町を巡りました。天気も良く気温も高かったですが、自転車を漕いでいると身体に当たる風が気持ちよく絶好のサイクリング日和でした。

日本海の潮風に当たりに行ったり、木戸孝允など様々な人の旧宅を巡り「歴史に名を残すような人たちが住んでいた所に自分たちもいるのだ」と感慨深いものがありました。（今井）

萩焼体験

広島

広島では宮島の厳島神社、平和記念公園へ行きました。厳島神社からの眺めは美しく、夜には大鳥居がライトアップされていたのでまた違った景色を見ることができ、とても感動しました。平和記念公園では原爆ドームや資料館などの見学をしました。そのまま残されている原爆ドームからは原爆の残酷さを肌で感じました。資料館や被爆体験のお話はなかなか普段は聞けないようなことを聞いたり、見たり、触れたりすることで学べたのでよかったなと思います。（岡田）

被爆体験講話

先輩！お疲れさま!! これからもがんばります 部活動 新チームの意気込み

早くも一学期が終了し、明日から夏休みです。多くの部活がそれぞれ練習に励むことでしょう。そこで、平成26年度新部長へ一言インタビューを行いました。

●**陸上部**「**目標は高く！**それに向かって一歩ずつ、ゆっくりでもいいから着実に進んでいこう！」

●**サッカー部**「**目先の一戦に集中**し、勝つことができるように、日々、一生懸命練習していきたいと思います。」

●**ソフトボール部**「**元気に楽しくうるさく**がんばります。」

●**男子バレー部**「**全員でバレーをする**という気持ちを強く持ち、県大会で活躍するようなチームにしていきたいです。」

●**女子バレー部**「**チーム一丸**となって頑張ります。」

●**男子バスケ部**「僕たち男子バスケ部は、**一人一人が主役**をモットーに毎日練習しています。指導して下さっている先生方、また、支えてくれる先輩方や家族に**感謝**し、大会では**公立No・1**を目標に戦っていきたいと思います。」

●**女子バスケ部**「**県大会出場**目指して頑張ります!!」

●**新体操部**「**尾張予選ではとりあえず3位**、最終的には**公立1位**を目指します!!人数が少なくて大変なことも多いですが、頑張ります!!」

●**男子バドミントン部**「男子バドミントン部部長の2年3組若園拓海です。2年生12名、1年生16名、総勢28名の新チームで本年度は活動していきます。練習メニューを見直し、しっかりとした目標、**それぞれの課題を意識**して、1勝でも多くできるように日々の練習に取り組んでいます。また、挨拶、マナーなど**当たり前のことを当たり前にやる**部員を増やすことも我が部の課題の1つです。**チーム一丸**となって活動できるように、責任を持って部長の役割を全うしたいと思います。」

●**女子バドミントン部**「1年生13人を迎え、一生懸命練習しています。**毎回の練習を大切**にしながら顧問の先生方のご指導の下、大会などで良い結果が残せるよう頑張ります。」

●**水泳部**「夏は水泳部の季節！**ガンガン泳いで**それぞれの**ベストタイム**を目指す!!チームの団結力も高めていきたい。」

●**弓道部**「**一射絶命の心**で日々頑張りたいです。」

●**剣道部**「**明るく楽しく元気よく!!**」

●**男子ハンドボール部**「去年の先輩方が目標としていた、**県大会出場**を目標とし、その**県大会で勝ち進みたい**です。」

●**女子ハンドボール部**「私達19人で**絶対県大会ベスト8**いきます!!」

●**男子テニス部**「競い合いながらアドバイスもお互いしたりしてチーム全体で**技術を高めあっていき**たいなと思っています。少しでも**高い目標を達成**できるように頑張ろう!!」

●**女子テニス部**「**県大会目指してコツコツ**と練習がんばります。」

●**男子ソフトテニス部**「先輩方よりも良い成績を残せるように頑張ります。**男子バドミントン部よりも良い成績**を残します。」

●**女子ソフトテニス部**「**団体戦と個人戦両方で県大会**に出場できるようにがんばります！」

●**男子卓球部**「僕たち男子卓球部は、**団体戦で県大会出場**を目標に毎日練習に励んでいます。また先輩と後輩の仲が良く、楽しく活動しています。応援よろしくお願いします。」

●**女子卓球部**「**大会で結果を残す**ことを目標に13人で仲良く一生懸命頑張ります!!☆」

●**ラグビー部**「昨年達成できなかった**県大会出場**という目標を新しいことに挑戦して、今年度こそ達成してやります!!」

●**演劇部**「限られた公演を全員で楽しんで、**心に残るような舞台**をつくります。」

●**美術部**「全力で納得のいく絵を描いて**目指せ全国!!**」

●**茶華道部**「13人の1年生を迎え、みんなで仲良く楽しく活動しています♪今は、**西高祭のお茶会**に向けて一生懸命練習しています!!みなさん、**ぜひお茶会**に来てくださいっ!!」

●**吹奏楽部**「先輩たちの想いを引き継ぎ、新メンバー48人で**県大会目指して**頑張ります。**西高祭や卒業式**でも演奏するので、ぜひ耳を傾けてみて下さい♪」

●**箏曲部**「**全国大会**を目指し、心に残る**素敵な演奏**ができるようがんばります。」

●**放送部**「放送部部長の2年3組若園拓海です。日々の昼休みの放送から、**体育祭の実況、進行など多岐にわたる活動**を本年度も展開したいと思います。それに加えて、**西高紹介ビデオやケーブルテレビの学校紹介ビデオの作成**を通して、**西高の魅力**を発信していきたいと思います。西高のれっきとした部活動として存在感を高めていけるよう活動したいと思います。」

●**国際関係部**「国際関係部は**今年できた部**なので、どんどん活動内容を増やしていきたいです。」

どの部活もやる気十分！暑い夏を乗り切って西高魂を存分に発揮してもらいたい。

＊各部の新部長さん、ご協力ありがとうございました。

＊今回掲載していない部は次号をお楽しみに!!

前期生徒会役員 始動

今年度の生徒会役員が決定しました！西高祭などの学校行事に向けて活動をしているみなさんにアンケートをしてみました。

質問内容は

①学年・組
②所属している部活
③今、はまっているもの
④生まれ変わったら何になりたいか
⑤生徒会役員としてこれからどうしていきたいか

会長　若園拓海

①2年3組
②男子バドミントン部・放送部
③学習マンガを読むこと
④正祖（朝鮮王朝第22代国王）のような人
⑤執行部の中心として昨年の経験を生かして、学校行事が皆さんにとって、より良いものとなるように活動したいと思います。

副会長　服部広大

①2年8組
②男子バドミントン部
③モノマネ
④鳥
⑤学校行事などを円滑に進められるよう、様々な活動に取り組んでいきます。

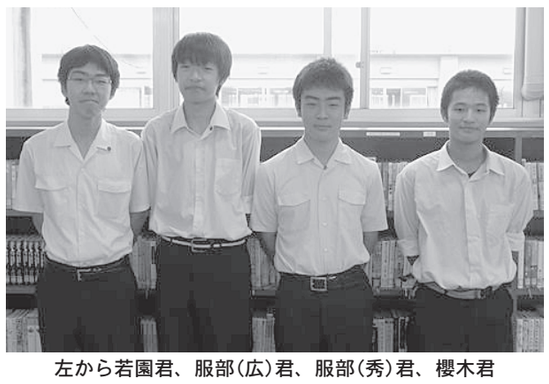
書記　服部秀平

①2年1組
②男子バドミントン部
③ドイツ語の勉強
④犬
⑤分からないことが多く不安ですが、精一杯頑張りたいと思います。

会計　櫻木皓基

①2年2組
②バスケ部
③ブレイクダンス
④猫
⑤（主に部活で）お世話になった3年生方へ恩返しをすべく、球技大会、西高祭を楽しいものにし、この学校をより良い学校へとしていきたいです。

西高祭も頑張ろう!!


左から若園君、服部(広)君、服部(秀)君、櫻木君

編集後記

郷土の歴史についての原稿を書くために犬山について調べたら、昔からの伝統や歴史が受け継がれており驚いた。（今井）

初めて新聞というものをきちんとしたかたちで書きました。これからも私なりに良いものが書けるように頑張ります。（岡田）

甲子園が楽しみです！！今年主題歌を歌うのは関ジャニ∞です。3Dプリンターでメンバーのフィギュアとか作ってみたいです♪（足立）

今回初めて記事を書きましたが、決められた字数以内に収めるのが難しく感じました…。思ったより大変でした。（木全）

気温が高くなっていって冷たいものが欲しくなるこの頃です。熱中症にならないように気をつけましょう。（岩田）

部員大募集 兼部OK！